

[楽しい手話幼児教育ワークショップのご案内] 参加費無料・無料託児サービス有り(科研費使用事業)

## ろう・難聴児の劇ごっこ遊びをはぐくむ絵本の 手話語りをアクティブ・ラーニング!

日時: 2017年 6月25日(日) 8:50~16:00

場所: 高松市幸町1-1 香川大学幸町キャンパス 研究交流棟5階 研究者交流スペース

講師:

1. 新井孝昭 氏 (聴者)

東京都生まれ。筑波大学大学院博士課程修了。博士(理論物理学)

筑波技術大学を2017年3月に定年退職、今年度、同大学非常勤講師

(☆筑波技術大学は視覚障害者と聴覚障害者であることを入学条件にする二つの学部から成る国立大学法人)

2. 戸田康之 氏 (ろう者)

兵庫県生まれ。筑波大学大学院修士課程修了。修士(障害児教育学)

埼玉県立坂戸ろう学校中学部、幼稚部、埼玉県立特別支援学校大宮ろう学園幼稚部教諭をへて、2017年4月から同校中学部教諭

NHK手話ニュースキャスター

「手話パフォーマンスきいろぐみ」ろう者代表

日程:(司会 西岡けいこ/香川大学教育学部教員)(聴者)

午前の部

8:50開始 趣旨説明と講師紹介

9:00 - 10:00 講演1(新井孝昭氏)(聴者)

「わたしの手話とろう・難聴の子どもたち・若者たちとのかかわり」

10:00 - 11:20 講演2(戸田康之氏)(ろう者)

「わたしの人生と手話と幼児教育実践」[映像つき]

11:20 - 11:30 講演についての質疑応答

午後の部

12:30 - 12:50 戸田氏指導による10名限定初級手話体験(音声使用なし)

12:50 - 13:10 戸田氏による絵本の手話語り実演と解説

『3びきのこぶた』(いもとやすこ)

13:10 - 14:10 グループごとに「課題絵本」の手話語り作成

課題絵本『はらぺこソーダくん』(岩田明子),『もこもこもこ』(谷川俊太郎・元永定正) 他

14:20-15:20 グループごとの手話語りを全体発表

15:20-15:40 戸田氏の講評と実演と質疑応答

15:40-16:00 「見せることば」と「聴かせることば」についての新井氏の講話

#### [趣旨と当日の内容]

高機能の補聴器・人工内耳であっても、ろう・難聴の乳幼児がその使用法に習熟するには、長期間の練習を要することが多いようです。その間、ことばをほんとうに獲得するために乳幼児期に必要な、イメージを共有して遊ぶ体験が、少なくなることもあります。聴こえる児であれ聴こえにくい児であれ、乳幼児期の遊びは全体的なコミュニケーション体験です。そこで、全体的な「見せることば」である手話による絵本の読み聴かせの魅力によって、楽しくイメージを共有してコミュニケーションする遊びの体験をもたらす可能性について、お二人の講師による講演とワークショップを通して、みなさまと共に考えたいと思います。

新井孝昭氏（聴者）は、永年、筑波技術大学に勤務され、堪能な手話でろう・難聴の若者たちを教育して来られました。また、定期的にろう・難聴児保育の現場に通い続け、乳幼児期の手話環境についての深い見識をお持ちです。戸田康之氏（ろう者）は、NHK手話ニュースキャスターも兼業し、ろう学校に勤務されています。

ワークショップでは、ろう・難聴の子どもたちを楽しい劇ごっこ遊びに導く、絵本の手話語りの方法を、アクティブ・ラーニングします。絵本については、文字を淡々と読み聞かせるのがよい、という考え方もあります。けれども絵本の大きな魅力は、言うまでもなく、「絵」、です。絵本の「絵」は、文字以前の、深い意味をもっています。講師のお一人でろう者の戸田康之氏は、永年、ろう学校幼稚部教員として、さまざまな個性の幼児たちに関わる体験を積み重ね、また、家庭では3人の聴こえるお子さんたちのすてきなおとうさんでもあります。そうした背景から、その絵本の「絵の意味」を全体的な手話で語って、絵本を読む楽しさに子どもたちを誘うことに、大変、堪能でいらっしゃいます。それは、その絵本のおもしろさの構造をくつきりと浮かびあがらせつつ、「子どもがよろこぶポイント」となる登場者のようすを生き生きと全体的に表現する、語り方です。そうした戸田氏に、子どもたちはぐいぐい引き込まれ、自発的にその絵本を自分たちでどんどん読み込んでいき、そのイメージを身体表現して互いに伝えあい、一緒に楽しく遊び始めるのです。

ご参加は、ろう教育関係者、ろう・難聴のお子さんのご家族の方を基本とします。しかし、聴こえる子どもの劇ごっこ遊びのための絵本の読み聞かせにも、大変に参考になるワークショップだと存じます。さまざまなご関心からのご参加を歓迎します。戸田氏指導による、手話未経験者10名限定の、初級手話体験もあります。講演には手話通訳が付きまします。

また、事前申し込みで、無料の託児サービスも提供します。香川大学内の別室で過ごしていただきますが、戸田氏の読み聞かせ実演の時には、よろしかったら、お子さんにも、お楽しみいただければ、と存じます。

(文責：香川大学教育学部教員 西岡けいこ)

○ 参加申し込みについてのご案内

- ・参加費無料です。(科研費使用事業につき)
- ・無料の託児サービスがあります。事前申し込みをお願いします。NPO 法人「託児ボランティアあゆみ」に出張依頼をします。原則として生後6カ月以上のお子さんを対象とします。
- ・午前の部のみの参加でも結構です。
- ・午後の部のみの参加希望もおうけしますが、できるだけ午前から連続してご参加ください。
- ・参加を希望される方は、6月10日(土)までに、[nishioka@ed.kagawa-u.ac.jp](mailto:nishioka@ed.kagawa-u.ac.jp) までにお申し込みください。ご希望が非常に多数になりました場合、申し訳ございませんが、会場の都合で、参加を、お断りさせていただくこともあるかもしれません。参加希望をお受けできるかどうか、6月13日(火)までに、返信メールをさしあげます

○申し込みメールには〔625企画 参加希望〕と、タイトルをつけ、以下の7つの項目を記してください。

1. お名前, 性別, お歳
2. ろう・難聴者であるか、聴者であるか
3. お立場: ろう・難聴児の親, ろう・難聴児への教育関係者(機関名も), ろう・難聴児(者)への生活サポート関係者(機関名も), 一般的な幼児教育関係者, 一般的な特別支援教育関係者, 一般的な教育関係者, 聴覚障害者協会の会員, 手話教育の関係者, 手話サークルの会員, 学生(学校名も), 研究者, その他
4. 手話経験: 経験なし, 経験あり (経験有りの場合、具体的な期間を記入してください)
5. 参加時間: 午前のみ, 午後のみ, 終日
6. 託児サービス: 希望なし, 希望あり  
(希望ありの場合: 託児者に伝達のため、〇歳〇ヶ月、聴こえにくいお子さんかどうか、聴こえに関することとは異なる特別の配慮の必要についても、ご記入ください)
7. 参加に関してひとこと